

## 繰り返し法(凹面)

原則 点字楽譜独自の繰り返し法（レ下がり・数字による繰り返し法・小節番号による繰り返し法）は、もとの部分と繰り返しを使う部分が、点字楽譜上で同じである場合に使用することができる。

### 1. レ下がりによる繰り返し法

小節の一部、または前小節全部の繰り返しで、もとの部分と繰り返しを使う部分が点字楽譜上で同じ時、使うことができる。

(1) 次の記号がある場合

*PPP*    *PP*    *p*    *mp*    *mf*    *f*    *ff*    *fff*  
*cresc.*   *decresc.*   *dim.*

a

b

前小節の頭の情報を置き換えて使うことが出来る

c

*p* *f*

Braille notation for example c:

小節の頭の情報をとっては使えない

d

*p*

Braille notation for example d:

前小節に情報がない時、情報を付け足して使うことが出来る

e

*cresc.*

Braille notation for example e:

(2) 松葉のクレッシェンド、デクレッシェンド

a



Braille notation for exercise a: A single line of Braille representing the pitch contour of the exercise.

b



Braille notation for exercise b: A single line of Braille representing the pitch contour of the exercise.

c



Braille notation for exercise c: A single line of Braille representing the pitch contour of the exercise.

d



Braille notation for exercise d: Two lines of Braille representing the pitch contour of the exercise.

e



Braille notation for exercise e: Two lines of Braille representing the pitch contour of the exercise.

f



Braille notation for exercise f: Two lines of Braille representing the pitch contour of the exercise.

### (3) スラー・タイ

次の小節または拍にかかるとスラー・タイを明確にするために  
下記のように使うことができる

a

Braille notation for example a:

b

Braille notation for example b:

c

Braille notation for example c:

### (4) フレーズスラー

a

Braille notation for example a:

b

Braille notation for example b:



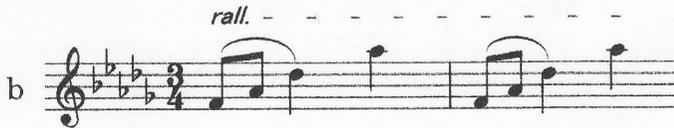
(7) ブレス記号



(8) 発想標語など



継続をあらわす点線の中では使うことができる



(9) その他

- ・アクセント、スタッカート、sf. fp. rfz. など、全く同じ時のみレ下がりにできる。
- ・弓弦楽器の弓記号、指記号は全く同じ時のみ、レ下がりにできる。

(参考) 拍の  $\therefore$  繰り返しの取り方

(※拍を「数字の拍」・「との拍」に分けて説明する。)

$\therefore$ が使える拍

「数字の拍」から「数字の拍」

「数字の拍」から「との拍」

「との拍」から「との拍」

$\therefore$ が使えない拍

「との拍」から「数字の拍」

The image displays eight musical examples on a five-line staff, each with a time signature and rhythmic notation. The examples are arranged in four rows and two columns. The first row shows 4/4 time with quarter notes (1, 2, 3, 4) and eighth notes (1 と 2 と 3 と 4 と). The second row shows 4/4 time with eighth notes in groups of three (1 と と 2, 3 と と 4) and sixteenth notes in groups of three (1 と と と 2, 3 と と と 4). The third row shows 3/4 time with eighth notes (1 と 2 と 3 と) and 6/8 time with eighth notes (1 と と 2 と と). The fourth row shows 6/8 time with eighth notes (1 と と 2 と と) and 9/8 time with eighth notes (1 と と 2 と 3 と と).

## 2. 数字（戻り数字）による繰り返し法

もとの小節と繰り返しを使う小節が点字楽譜上で同じ時、使うことができる。  
 同じパラレル内でのみ使うことができる。  
 強弱記号を置き換えて使うことはできない。  
 指記号が記されている時は注意をする。  
 戻り数字にタイ、スラーを付けては使わない。

a

b

c

*leggiero*

### 3. 小節番号による繰り返し法

もとの小節と繰り返しを使う小節が点字楽譜上で同じ時、使うことが出来る。戻る小節番号をたて、繰り返しが終わる小節もわかりやすいよう小節番号をたてる。

小節数など、戻る価値があるか、また、スムーズに読むことができるかを考えて使う。

強弱記号を置き換えて使うことはできない。

☆☆☆☆☆